

コース42 おおやま いわたのさん 大山と岩殿山

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成23年11月 23, 24日 (水, 木) 天候 快晴

参加者 24 (男性 5 女性 19)

グレード B

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
23日 新津駅西口		4:30	川口 SA 赤城高原 SA 談合坂 SA
岩殿山	10:20	10:30	大月市登山口 富士山大眺望
猿橋	11:10	12:10	猿橋の峡谷の紅葉さっぱり 昼食
陣馬(場)山	13:30	14:00	和田峠登山口 富士山見えず
24日 下神崎荘		6:50	宿坊和風料理好評 P 厳しい
ヤビツ峠	7:40	7:55	左(西)丹沢山塊 右(東)大山の峠に当る
大山山頂	9:40	10:10	富士山と丹沢の大展望 相模湾霞む
阿夫利神社下社	12:40	13:20	見晴台でお昼食 下社は紅葉真っ盛り
大山門前通バス停	15:00	15:10	女坂を下る 不動尊付近の紅葉見事
新津駅西口	22:10		東名経由は大渋滞 遅くなった

山行等概要 (幹事のコメント)

- 初日の岩殿山は山梨県の南端、大月市にある岩山。戦国期、武田氏の家臣の小山田氏の城跡で、大月市選定の富嶽12景の1つ。
- そこから近い猿橋は、日本三奇橋の1つで、切り立った渓谷に橋脚なしにハネ板を四層に伸ばして掛けられてある。今年は夏の暑さのためか紅葉はさっぱり、渓谷の真上に回り込む眺望所も崖崩れで行けなかった。
- 八王子に抜ける圏央道が貫通したため時間的に可能となって、人気の山「陣馬山」へ和田峠から最短コースで登った。残念ながら、富士山の眺望は霞んで得られなかったが、頂上の大きな白馬像は健在。。頂上周辺の茶店と登山客のそれぞれの数の多さに驚いた。
- 二日目の大山は、江戸期いわゆる「大山詣で」で賑わった山。300名山である。
- 山頂の大山祇神社は工事中であったが、その周囲を巡って360°の大展望を楽しんだ。
- 中腹の下社から不動尊に掛けては期待通り紅葉の真っ盛りで、変化に富んだ2日間の山旅を皆さんから楽しんでもらえたと思う。



「大山詣で」で有名な大山 1252m
200名山で丹沢山塊の前衛峰でもあり、昔から「大山詣で」で有名な大山。山頂(奥の院)。これをぐるりと廻ると富士から相模湾、関東平野の360度の大展望。

「大山と岩殿山に参加して」

(1383) T/K

新津ハイキングクラブに入会して、初めて一泊登山に参加する。2時半起床、薄暗い中総勢 24 名秋葉区役所を 4 時 30 分出発。越後川口で休憩、バスの中でうとうととしている間に関越トンネルを抜け青空が広がる。雨の心配なし、ほっとする。関越道一中央道一山梨県大月市に入ると、前方に美しく雪化粧をした富士山の頂が見え歓声が上がる。

岩殿山登山口を 9 時 30 分出発、見上げると切り立った岩山が眼前に迫る。標高 634m 弥彦山と同じである。人気の山なのであろう、よく整備されていて歩きやすい。寒さばかり心配していたが、とても暖かい。左手に富士の頂を見ながら頂上に着きほっとする。岩殿山の名のごとく山頂直下覗くと急な岸壁、なんと爽快、素晴らしい眺めである。

リーダーから山々の説明があるが、私は猿橋で待っていてくれるであろう同級生のことを考えていた。彼女は橋のすぐ傍で待っていて短時間であったが郷里岡山のことを話し合い、ハイキングの皆様の好意で一緒に記念写真を撮り、とても楽しいひとときだった。

さて猿橋はというと、紀元 600 年に深谷を行き来する猿の群れをヒントに造られた橋で、桂川深谷のシンボルとして多くの見物客が訪れる。橋脚を一本の使わず、はね木で支えられている珍しい橋で、日本三奇橋である。

猿橋を後にし、陣馬山登山口の和田峠へとバスは進む。和田峠からの登山道はとても歩きやすく、あっという間に頂上に着く。頂上には大きな陣馬の像が建造されていて、大勢の人で賑わっている。ぐるりと展望が広がり、「富士山はどこかな。」と。残念ながら霞んで望めず。陣馬の像の前にて記念写真を撮り、下りは別ルートを下る。階段ばかりで、こちらからの登りは大変だろう。

一日目の行程が終了。今晚の宿である門前町大山へと向かう。門前町の狭い道路を縫うようにバスは進み、下神崎荘に到着。まずはお湯につかり疲れを癒す。夕食時宿のご主人のお話で、300 年も続いている宿坊とのことで、昔は相当賑わったそうである。リーダーの乾杯で喉を潤す。料理も心のこもった手作りの品々で美味しくいただく。皆々、お疲れ様で 9 時過ぎに就寝。

翌朝 5 時起床、宿を 7 時出発。全員元気澆刺、目指すは丹沢大山である。ヤビツ峠より登山開始。左に富士山を見ながら表参道分岐へ、必死に歩くが石段が多く大変。前方で「わあっ」という声がする。なんと登山道右斜面に鹿が 2 頭、可愛い目で私たちを迎えてくれる。余程人慣れているのであろう、しばらく動かない。息を切らしながら山頂の鳥居をくぐり、奥社にお詣りする。

奥社にて記念写真。素晴らしい展望で、富士山が一段と美しい。奥社から見晴らし台へと下り、班ごとに昼食。今登ってきた大山を見上げながら、最後の下社への下りとなる。石段が多く下りは大変である。さすがに信仰の山、杉・縦の木の何百年も経った大木が樹立し壮観である。下社～大山不動尊への石段は、紅葉のトンネルがとても美しく赤一色である。

女坂を下り追分へ、両側に土産屋が建ち並んでいる。バスの待つ門前通りにと下る。二日間の行程も終わりに近づき、健脚の皆さんにやっとならでもついて歩けたことに満足、和気あいあいと帰路につく。赤城サービスエリアで夕食、秋葉区役所午後十時頃到着。

個人的にはなかなか行けない山行を計画して下さったリーダーご夫妻に感謝します。ご一緒してくださった皆様、本当にありがとうございました。



(23 日) 岩殿山々頂の手前の展望所

一同の視線の方向に富士山の大展望。その手前下方には大月市街が広がる。



(23 日) 人気の山、陣馬(場)山

相模湖と中央線の左右に連なる山の一つで、富士山は霞んで見えなかったが、山頂は 3～4 軒の茶店と人出で賑わっていた。